バスキャリーライト　取扱説明書

このたびはバスキャリーライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このバスキャリーライトは身体の不自由な方がリフトで入浴する際、介助の方の労力を
軽減する目的で作られております。
本説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用下さいますよう、お願い申し上げます。

お問合せは

販売店

製造元

株式会社 ミクニ　コンシューマ事業部
東京都千代田区外神田６－１３－１１　0120－392－294
神奈川県小田原市久野２４８０　（フリーダイヤル）

1. 安全上の注意

ご使用の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いになって下さい。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止する為のものです。その表示と意味は次のようになっております。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損傷のみの発生が想定される内容を示します。

警告	吊りベルトをリフトのハンガーに正しくかけて下さい。 重大な事故につながる恐れがあります。

警告	安全ベルトを必ず締めてお使い下さい。 重大な事故につながる恐れがあります。

警告	吊りベルト、安全ベルト、シート地がいたんできた場合は使用を止めて下さい。 重大な事故につながる恐れがあります。

警告	キャリーを使用する際は、必ず介助者が付き添って使用して下さい。 重大な事故につながる恐れがあります。

警告	吊りベルトの接続チ金具が確実にロックされていること、リクライニング調整ネジが確実に締め込んであること、スプリングキャッチが確実に固定されていることを確認して下さい。 重大な事故につながる恐れがあります。

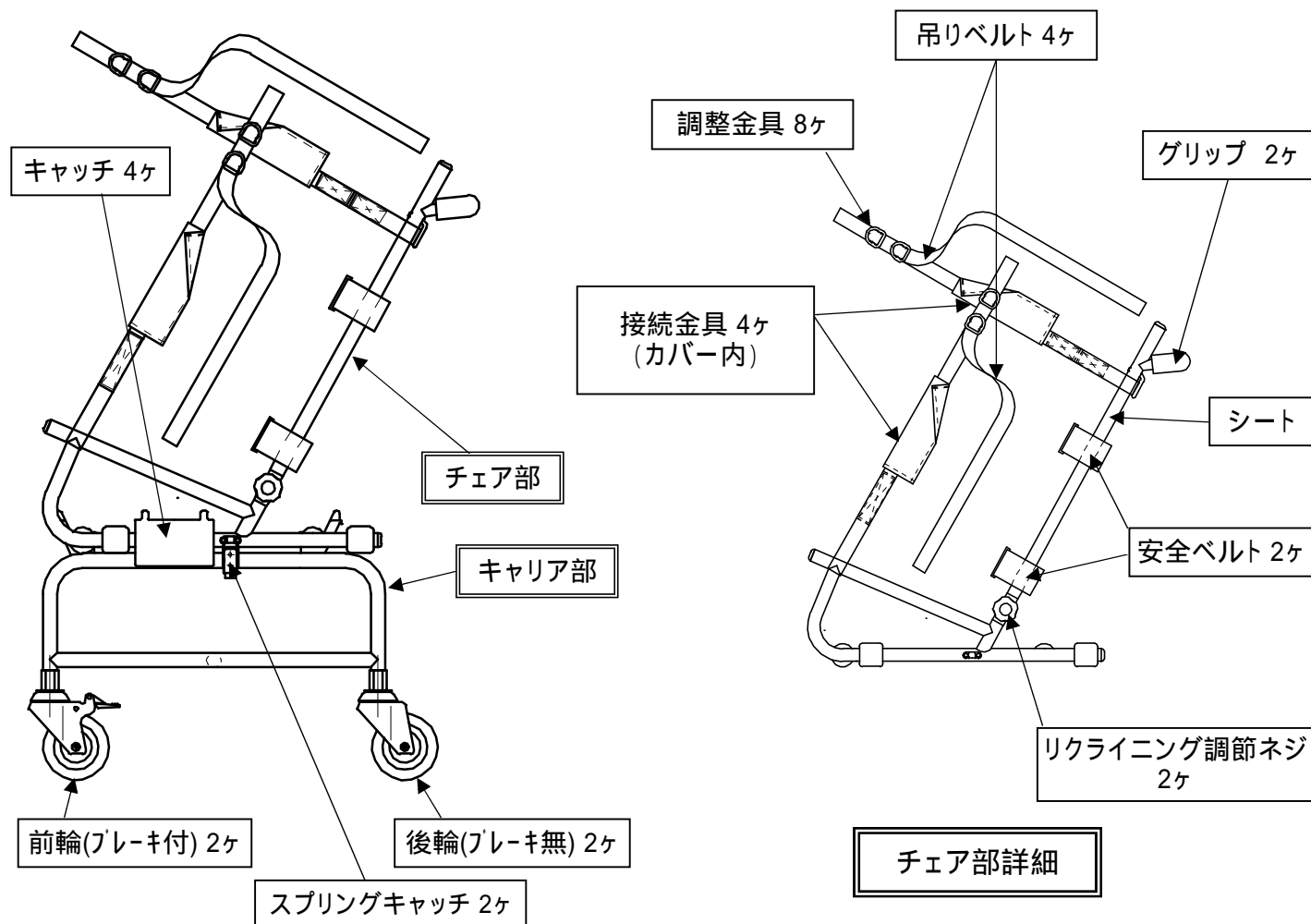
警告	段差の乗り越えなどで前輪を浮かせる場合、80mm以上浮かさないで下さい。 転倒してケガをする恐れがあります。

警告	キャリーへの乗り降りや浴室での使用時は、動かないように前輪をロックして下さい。 不意に動き出すと、転倒したり壁や器物にぶつかりケガをする恐れがあります。

警告	お子様のいたずらに注意して下さい。 転倒してケガをする恐れがあります。

注意	角度調整などキャリーを調節をした場合は、使用する前に確実に固定したか確認して下さい。 転倒してケガをする恐れがあります。

注意	お手入れの際、酸性･アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、たわしを使用したり、熱湯をかけたりしないで下さい。 本体をいためたり、変形する恐れがあります。

2．各部の名称

3．使用方法

寝室や居室から本人をバスキャリーライトに移乗させ、直接浴室に移動し、リフトで吊り上げることにより座ったまま脱衣場･洗い場･浴槽への移動ができます。

(1) はじめに

① リクライニングの角度調整とバックレストの張り調整を行います。
リクライニングの角度調整は、調整用のネジ左右2ヶ所をゆるめ、適切なところでネジを締め固定します。本人を乗せる際は、確実にネジが締めてあることを確認して下さい。
シート（背中部分）の張り具合の調整は、ベルト部分を一度緩め、適切なところで固定してください。

② 吊りベルトの長さ調整を行います。
人を乗せない状態で、リフトにチェアを吊り下げ、浴槽の底からキャリアに載せるまで、どこにもぶつからないことをリフトを上下させながら確認し、一番高いところ、一番低いところで問題のない吊りベルトの長さを決め、調節金具で長さを調節して下さい。尚、4ヶ所それぞれの吊りベルトがバランスが取れているかどうか確認して下さい。

(2) バスキャリーライトへの移乗

本人をベッドの端に移動させ、キャリーをベッドに対して３０°程度の角度で健康な足の側に置き、ブレーキをかけておきます。ベッドから車椅子へ移乗させるのと同様に本人を移乗させます。
その後、ブレーキを解除して下さい。
その際、キャリア部とチェア部左右のスプリングキャッチが確実に固定されていることを確認して下さい。

⑶ 室内での移動

車いすを移動させるのと同様に移動します。尚、移動する際に、足が床に擦れていないかを確認して下さい。
その際、キャリア部とチェア部左右のスプリングキャッチが確実に固定されていることを確認して下さい。

⑷ 浴室での使用

チェア部に座ったままリフトで吊り上げ浴槽に入ることができます。
吊りベルトをリフトのハンガーに接続し左右のスプリングキャッチを外します。この状態で、リフトを操作して
チェア部を吊り上げます。 その際、キャスターのブレーキはかけておいた方がより安定します。
(リフトの取扱説明に従って下さい)入浴終了後はキャリア部と合体後チェア部左右のスプリングキャッチを
確実に固定します。 居室に戻る際はキャリーに水滴が付着していますので、タオル等で拭き取ることを
お勧めします。 また、熱湯をかけることはお止め下さい。

4. お手入れのしかた

通常は柔らかい布で水拭きをして下さい。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用して拭き、そのあと水で二度拭きして下さい。
消毒をする場合は、アルコールか薄めた逆性石鹸を使用して下さい。
シートは着脱式ですので取り外して手洗いもしくは、洗濯機でネットに入れて洗うことができます。
酸性・アルカリ性、ベンジン、シンナー、クレンザー、たわしなどは本体を傷つけるので使用しないで下さい。
熱湯は本体を変形させることがありますので使用しないで下さい。
濡れた状態で放置するとカビが発生する恐れがありますので、水分を拭き取っておいて下さい。

MEMO

0706